

新プロジェクトを立ち上げました

私たちの生きてきた軌跡を記録として残しませんか

ポリオの軌跡を残すプロジェクト代表

柴田多恵

昭和 35 年、全国各地でポリオが大流行しました。この年の罹患者は約 5000 人。未曾有の大流行となりました。熊本のお母さんたちの「ワクチンをよこせ」の運動は、全国に広がり、時の厚生大臣の心をも動かし、ついにその翌年、ソ連からポリオワクチンが緊急輸入されました。その年のポリオ罹患者は激減。それを機にポリオの罹患者はほぼ、日本からいなくなりました。

日本にまだポリオワクチンがなかった時代に生まれた私たちは、よりによってポリオに罹患し、幼少時から麻痺の手足を抱えて、ここまで生きてきました。ワクチンでポリオになった方たちもいらっしゃいますが、私たちがこの世からいなくなったら、ポリオ罹患者は、ほぼ日本からいなくなるなあ・・・ある日、ふとそんなことを思った私の胸の奥底から、ある思いがマグマのように熱く湧き上がってきました。

「私たちが生きてきた軌跡を後世に残したい。」

昭和、平成、令和という時代を、私たちは、手足に麻痺を抱え、懸命に生きてきました。日常の動作の不便さは言わずもがな、人生の節目節目に差し掛かるたび、進むべき道はかなり制約され、この障害を背負っていても何とか生きていける活路を模索しつつ、どうかここまで生きてきました。そんな、一人ひとりの生きてきた軌跡をぜひ文字で記して残しておきたいと思ったのです。その記録は、いろいろな意味で有益なものになるに違いないと思ったのです。

上述の通り、日本国内で数十年後にはポリオ罹患者が消滅するはずですから、ポリオ罹患者がどのような人生を送ったのかということ、今こそ、私たち自身が書き記し、後世の参考に残しておく必要があると思うのです。私たちしか語り部となることのできない、この記録はたいへん貴重なものになるのではないのでしょうか。ほんの豆粒程度のものかもしれませんが、人類史の 1 ページに充当するに違いありません。

その他、もっと実際的な効用としては、次のようなことも挙げられます。

- ① ポリオという病気にかかって起きる後遺症の様々な事例、さらに、年を取っていくことによる障害の変化等も明らかになれば、ワクチンポリオの人のみならず、他の麻痺性疾患の病気に対処する際の参考になる。
- ② ポリオの後遺症をもつために生じた様々な困難を皆が語れば、従来の福祉制度の問題点—就学差別・就労差別・結婚差別等が浮き彫りにされ、今後の制度改革推進のための立脚点になる。
- ③ ポリオの後遺症を持ちながらも、何とか生き抜いた私たちのがんばりと工夫は、きっと多くの人の励ましとなる。

皆さん、どうでしょうか。私たちが生きてきた、それぞれの「マイ・ウェイ」を書いて残すのは、たいへん有意義なことだと思います。最後の力を振り絞って、あなたが生きてきた軌跡を書いてみませんか。

全国の会員すべての軌跡(自分史)を一冊の本にして、後世に残しましょう。

本のタイトル 『ポリオの軌跡』

執筆者 全国ポリオ会連絡会の全会員

発行予定 2023 年 3 月発行

今年度中に集めることを目標。

ページ数 未定。

制作目的 上述の通り。

※発刊後は、新聞にて広報して販売。国立国会図書館並びに全国の図書館に寄贈。

国立国会図書館にはデータでの保管も依頼。

執筆要領

タイトルは自由です。例：「ポリオとともに」、「麻痺の足と一緒に歩んだ私の人生」等。どのような書き方でも結構です。生きる上での様々な困難と苦労等、それをどう克服してきたか等、思うままに書いていただけたらと思います。長くてもかまいません、書きたいだけ書いてください。反対に、書けない、書きたくないという方も、いらっしゃると思います。それはそれで構いませんが、どのような方のどのような文章であっても、すべて将来的には貴重なポリオの記録としての価値を持ちます。そのような観点から、できるだけ多くの方に書いていただきたいと思います。罹患日、罹患した場所、罹患時の障害程度、その後の障害の変化(重篤化の過程)、そして、なにを生業として生きてきたか。それだけは、書いていただけたらと思います。もちろん、匿名でも構いません。

できた原稿は、各地の代表まで提出をお願いします。(各地の代表が「ポリオの軌跡を残すプロジェクト」に入っています)。自分で書くのは大変だが、話すのは大丈夫という方には、まずは、各地の代表者までお電話をください。プロジェクトメンバーが電話で聞き取りをし、文章を作成します

「ポリオの軌跡を残すプロジェクト」メンバー

代表 柴田多恵 (ポリオネットワーク)

メンバー 今田雅子 (北のポリオ会)

森山幸恵 (エンジョイポリオ会)

神田公弘 (ポリオの会東海)

阿部一彦 (仙台ポリオ会)

小関 理 (仙台ポリオ会)

内藤博介 (ポリオネットワーク)
星 颯 (仙台ポリオ会)
大竹利幸 (ポリオの会東海)
大川章司 (ポリオの会東海)
大下 勝 (ポリオネットワーク)
藤田比佐枝(ポリオネットワーク)

上記の方々以外に、さらに新たなメンバーを募集します。聞き取りのスタッフも必要です。少しでも多くの人に参加していただければと思っています。協力してくださる方は、柴田多恵にご連絡ください。お待ちしております。

電話 078-792-7471 メールアドレス shibata@star.odn.ne.jp